

沖繩大学地域研究所 公開講座 ②

障がい者雇用 促進のために

—事例報告&ディスカッション—

人は障がいの有無に関係なく、「働くこと」を通して生活に必要な技能を高め、知識を習得し、地域との関わりを広げていきます。「働くこと」は、自らの生活の質を高めるとともに、社会に貢献することになります。そして、働く環境を提供することは、企業の責務の一つと考えています。

沖縄同友会では「健障者委員会」を設置し、障がいのある方や就職困難者の「働きたい」に応え、共に働くことによって、互いが共に育つ魅力ある企業づくりをすすめています。

今回、3つの実践を通して、企業や経営者の責務と、障がいのある方の「夢」と「希望」を実現するための環境づくりについて考えます。



開催概要

日時：2021年 **9月29日(水)**

13時30分～16時

形式：オンライン配信(無料)

主催：沖縄大学地域研究所 (お問合せ: Tel. 098-832-5599)

共催：沖縄県中小企業家同友会

プログラム

- ◆ 話題提供
 - ① 基調報告 「健障者委員会の紹介とわが社の取組」 比嘉 糸み子
 - ② 事例報告 「障がい者雇用による業務改善」 下田 美智代
 - ③ 事例報告 「共に働き共に育つ企業づくり」 仲本 和美
- ◆ 視聴者質問への応答・ディスカッション [司会] 島村 聡

比嘉 糸み子 (㈲やんばるライフ専務取締役)
沖縄県中小企業家同友会相談役、中小企業家同友会全国協議会障害者問題委員会委員長

人を大切にする経営学会沖縄県支部長。17年前より障がい者雇用を開始し、現在8名の一般雇用を実現。就労支援A型事業所株式会社やんばるステーションにて19名の就労支援を行っている。

下田 美智代 (㈱共栄環境代表取締役)
沖縄県中小企業家同友会健障者委員会副委員長、那覇市環境審議会委員

日々回収される廃棄物量のデータ作成に難病を抱える在宅者を雇用し、業務を大きく改善させた。他に精神疾患を雇用するなど、障がい者の働く職場づくりに取り組んでいる。

仲本 和美 (㈲仲松ミート執行役員)
沖縄県中小企業家同友会健障者委員会委員長

自身の子が知的障がい者ということもあり特別支援学校のPTA会長、沖知P連の会長を務める。障害者雇用推進企業登録制度、制度推進相談員、障害者自立支援構成員など、障がい者の雇用推進に取り組んでいる。

島村 聡
沖縄大学福祉文化学科教授、地域研究所所長

市役所での福祉実務経験を経て、2013年から沖縄大学教員。厚生労働省の相談支援に関する研究班、日本社会福祉士会障がい者支援委員、沖縄県障害者自立支援協議会委員として20年間、障がい者分野の政策課題について検討を行っている。

申込先

メール：chicken-staff@okinawa-u.ac.jp
(件名に「9月29日公開講座申込」、本文に「氏名・電話番号」を記載)

「Zoomウェビナー」でオンライン講座をお届けします。ネットに接続し、PC・スマホ・タブレットなどから視聴できます。事務局より、視聴する際に接続するログインURLを講座の前日までにメールでご案内します。

今後の公開講座等の情報をご希望の方へLINEで配信します。下のQRコードより登録ください!

